

氏名	金 さやか	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	成人看護学 眼科看護 慢性疾患看護 高齢者リハビリテーション				
学位	看護学修士				
学歴	慶應義塾大学看護医療学部看護学科卒業 埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科看護学専修修了				
経歴	2014年東京工科大学助手、2015年埼玉県立大学助教				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本視機能看護学会、リハビリテーション連携学会、日本健康医学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	看護学入門 10 成人看護 3	共著	あり	メヂカルフレンド社、324 頁	金さやか（眼科看護）、監修小林 寛伊	2020.11
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	看護実践能力の育成を目指した授業展開 の評価	共同	日本看護学教育学会第30回 学術集会（Online）	○金さやか、常盤文枝、會田みゆき、山 岸直子、東口晴菜		2020.9
2	視線追跡を活用した看護場面における学 生の情報獲得と思考過程分析の試み	共同	日本看護学教育学会第30回 学術集会（Online）	○會田みゆき、常盤文枝、山岸直子、金 さやか、東口晴菜		2020.9
3	男性介護者の介護準備態勢における自己 評価尺度の開発	共同	第40回日本看護科学学会学 術集会（Online）	○根岸貴子、金さやか、松江なるえ、藤 森京子		2020.12
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費 補助金 （若手研究B）	角膜移植レシピエントのQOL 評価 尺度の開発		代表者	2017.4～2022.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費 補助金 （基盤研究C）	通所介護における生活行為の向上 を視点としたマネジメントモデル の開発		分担者	2017.4～2021.3	
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費 補助金 （基盤研究C）	視線分析を用いた多重課題におけ る臨床推論力を高める教育プログ ラムの開発		分担者	2020.4～2023.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	成人看護学 V		4	神経難病、関節リウマチ、視覚障害者の看護をテーマに講義した。視覚 障害者団体・同行援護事業所の協力のもと、視覚障害者の実情を知らせ るためのオリジナルの動画を作成し、授業で使用した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	成人看護学 V		6	看護過程を学ぶ演習のファシリテートを行った。		
2	成人看護学 V		3	輸液管理、モニター心電図の演習をオンラインで行った。		
3	臨床実践看護		4	複数患者受け持ちの机上シミュレーションを行った。		
4	臨床実践看護		4	輸液治療中の患者のリスク管理に関する演習を行った。		

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学実習Ⅱ	○	5月～6月	模擬事例と動画教材を活用し、慢性疾患患者の看護を学ぶことができるよう工夫した。
2	総合実習		7月	プロジェクト学習による学びが深まるようファシリテートした。
3	IPW実習		10月	多職種連携の学びを深める支援を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.2～2020.12	主指導 2名	副指導 名
2	修士論文		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名
3	博士論文		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	-			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	実習計画調整委員として、インシデント・アクシデント報告書改訂の中心的役割を担った。		2020.4～2021.3
2	学生支援	担任として、学生の心理的支援、就職支援を行った。		2020.4～2021.3
3	大学広報活動	オンラインによる高校出張講座を行った。		2020.11
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			